

## 使いやすさと上質感を徹底追求した、ラゲッジルーム & 収納スペース。

センタータンクレイアウトが実現した低いラゲッジルームと多彩なシートアレンジで、ウイークデイからウイークエンドまで自在に使える荷室空間を実現。ラゲッジルームサイドには表皮を施すなど、豊かで洗練された毎日のパートナーとして、上質な仕立てを徹底しました。

### 驚きの使い勝手と上質な仕立てのラゲッジルーム

低く広くスクエアなフロアとすることで優れた使い勝手を実現。サイド面は、フェーエルパイプなどの内部レイアウトを工夫することでフラット化したうえ、不織布の表皮をしっかりと基材に巻きつけて上質に仕立てました。荷室容量は404L\*1を確保。リア席使用状態で一般的なゴルフバッグ\*2が3個積載可能です。



\*1 ラゲッジルームアンダーボックスを含む容量。ハイブリッド車(FE)の場合。リアシートのリクライニング位置を前方に設定すると423Lになります。

### さまざまなシーンに対応する多彩なシートアレンジ

リアシートをチップアップ&ダイブダウン機構付6:4分割可倒式とし、多彩なシートアレンジを実現しました。チップアップすれば、リアシートのあったスペースが高さ1,220mmの荷室空間となり、背の高い荷物の収納に便利。ダイブダウンすれば、床面長1,636mm、高さ830mm\*5の広大な荷室が出現。マウンテンバイクを2台縦置きできます\*6。リアシートをダイブダウンし、助手席をいっぱい倒せば長尺物にも対応。



\*5 ハイブリッド車(FE)の場合。ガソリン車(FE)の荷室高は867mmでより背高の荷物が積載可能。  
\*6 前輪を外した状態。自転車等のサイズ・形状によっては積めない場合があります。写真は26インチMTBを使用。

### 積み降ろししやすい大開口テールゲート

開口幅は上級SUVを上回る1,180mmで、一般的なゴルフバッグ\*2をスムーズに積み降ろし可能。開口長(上下)も900mmで、50インチテレビ\*3を立てたまま積み降ろしできます。また、ハイライダーでありながらテールゲート開口地上高をクラストップレベル\*4の低さである650mmに設定。重たい荷物もラクに積み降ろしできます。



\*2 9.5インチのゴルフバッグ。形状によっては積載できない場合があります。  
\*3 形状によっては積載できない場合があります。  
\*4 1.5L~2.0LクラスのSUVとして、2013年11月現在。Honda調べ。

### 使いやすさを追求した充実の収納装備



ドリンクホルダー(後席用)

ドアポケット(運転席/助手席) / ボトルホルダー(全ドア)

ラゲッジルームアンダーボックス  
写真はハイブリッド車(FE)